

平成28年6月20日

PTA 会員各位

八幡山小学校 PTA 会長 榎田 枝里子  
家庭教育学級委員長 和田 夏江  
同副委員長 尾崎 あづみ

## 第1回家庭教育学級の報告



平成28年6月9日(木)ランチルームにて、本年度家庭教育学級開級式と第1回家庭教育学級を開催しました。

雨が降る中、55名の保護者の方にご参加いただき、また、世田谷区教育委員会より社会教育指導員の杉本先生にお越しいただきました。

開級式に引き続き、第1回家庭教育学級が開かれました。本校スクールカウンセラーの渡辺友香先生を講師に迎え、「子どもの心と身体の健康」をテーマに心と体が健康であることの大切さをお話していただきました。

以下に内容を抜粋してご報告いたします。

子どもの気になる現状は、眠い、無気力、イライラ、キレる、話を聞けない、自分の事を伝えられない等、勉強以外の問題が多いそうです。そこで心身の健康の基本は生活習慣であり、適切な睡眠をとることが大切であると教えていただきました。

子どもがネガティブな気持ち(例:友達のことをムカつくと言っていた、やたら「ウザイ」「ムカつく」「ムリ」と言う、イライラを物へ当たる暴力で表現する・・・等)になっている場合は、どんな気持ちも認め共感し、(行動を認める)子どものグチをたっぷり聞くことです。そのためには、子どもが話したくなる環境が大切です。子どもと話すときに、テレビがつけっぱなしだったり、子どもも親もスマホ、ゲームなどに時間と気をとられていませんか?親の聞きたいことばかり質問し、失敗したことなど、本当のことを言うと叱られると思わせたりする環境はよくありません。子どもは生まれながらに、成長する力、よりよくなりたいという意欲を持っていると教わりました。

子どもにとって一番の応援は、家がほっとできる場であり親が笑顔でいることです。限りある親子の時間、心地よい時間をたくさん共有することが大切だとあらためて思いました。

アンケートでは

- ・子どもの話を落ち着いて聞くというのがなかなか出来てないのと、反省しました
- ・手を止めて子どもの話をもっとたくさん聞こうと思いました。
- ・あらためて、睡眠の大切さと生活リズムを整えることの重要性を考えさせられました。子どもに言うだけでなく、自分も生活習慣を見直すいい機会だと思いました。
- ・学校にスクールカウンセラーがあることは知っていたのですが、子どもだけだと思っていました。親も活用させて頂きたいです。
- ・先生ご自身の体験をふまえたお話はたいへん興味深くあっという間の1時間半でした。
- ・子どもとの普段の会話を大切にし、子どもが話しやすくなる環境づくりをしたいと思いました。
- ・子どもの話をたくさん聞いて、受けとめてあげたいと思いました。
- ・気をつけたい対応については、私がやってしまいがちな事があり、気を付けないといけないなと思いました。
- ・睡眠はとても大事だと改めて思いました。
- ・まさに、今悩んでいる話がたくさん聞けてとても参考になりました。
- ・子どもに説明不足で否定したり先回りして話をする事があったと反省しました。
- ・嫌な出来事、気分から逃げてしまうのではなく、会話や表情に出してもいいのだという事を教えていただきました。
- ・子どもは「ムカつく」「ヤダ」など一言で表わしますがもっとその先を聞いてみようと思いました。
- ・子どもは話をすることで安心できると、分かったので今日からじっせんしたいです。

など他にも多数のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

第2回家庭教育学級は11月1日(火)を予定しております。

詳細が決まりましたらお知らせいたします。

みなさんのご参加お待ちしております。